

第 6 回 第 6 期中原区区民会議 運営部会 会議録

日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木）午後 2:00～3:30

場 所：区役所別館健康談話室

出席者：成田（部会長）、橋本、井上、小野山、梶川、田邊、萩原、

【委員 7 名】

【事務局 3 名 永山副区長、相澤企画課課長補佐、中野企画課職員】

【コンサルタント（株カイト）1 名 岩下】

1 開会

開会宣言

資料確認

会議の公開について

2 会議録確認委員の選任（進行：成田部会長）

「部会長・副部会長を除いた名簿順で会議ごとに 1 名の委員を指名」の原則に沿って、梶川委員が務めることとなった。

3 議題

(1) 区民会議報告会について

事務局から、参考に前期の区民会議の報告会の実施概要等について説明があった。

その後今年度の区民会議報告会の企画について、意見交換した。

【運営部会でまとめた区民会議報告会の企画案】

タイトル：区民会議成果祭（せいかさい）

※サブタイトル等は要検討

会 場：こすぎコアパーク

日 時：平成 30 年の 5 月下旬～6 月上旬の土曜日（5 月 19・26 日、6 月 2 日のいずれか）（10 時～15 時）

※管理運営協議会に企画説明の上、日程調整する。

企画内容：

- ・今期のテーマ「防災」に関する啓発・体験のブース・イベントを主とする。
- ・親子サッカードリーム教室で実施した体験ブースや防災クイズラリーなどを中心に、各団体の防災取組の PR、消防や警察による展示などから、可能なものを企画・実施。
- ・通りがかりの人にも立ち止まって、見たり、体験したりしてもらい形を目指す。
- ・簡易ステージ等で 30 分程度の時間制で被災体験談を聞く場なども検討する。
- ・地域の着ぐるみキャラクターの来場なども検討する。
- ・物品や飲食の販売については、可能かどうか、要確認。

報告内容：

- ・区民会議の報告は成果をまとめた広報物を作成、来場者や通行者に配布する方法で行う。

その他：

- ・雨天決行・荒天中止

### 【主な意見交換の経緯】

成田委員 私たちの委員としての任期は6月まで。開催時期については、総合防災マップの完成を踏まえて行うことも考えられる。

井上委員 市民館開催では限られた方にしか見ていただけない。外に開かれた場所でやるべきだと思います。

橋本委員 総合防災マップの完成はいつ頃になるのか？

事務局 総合防災マップに綴る「ハザードマップ」の更新版完成が3月になる見込みなので、それを待つと年度内の完成は厳しい状況である。

橋本委員 これまで「区民会議報告会」だけでは人が集められず、何かと合わせて企画してきている。5・6月あたりでコラボに適したイベントはないか。

成田委員 第4期では区制の周年事業と合わせて、写真展やなかはら昔話、川崎華族（フロンターレの中心的応援団）の山崎さんの講演、法政二高の吹奏楽部の演奏などの企画を前段として実施した例がある。市民館のホールは通りがかりに立ち寄れる構造ではなく、関係者以外にはわかりにくい会場ではある。

萩原委員 過去の区民会議委員にも声をかけ、今回だけでなく、これまで、これからを語り合える場、区民会議の集大成として行政にも伝えていく場が必要ではないか。報告会とは別に考えるべきかもしれない。

梶川委員 昨年度の報告会は人形劇などで多少賑わっていたが、来場者は関係者周辺に留まっていた印象だ。

田邊委員 過去の委員の知り合いは、時々「今何やっているの」と聞いてくるが、報告会に来てくれるかどうかはわからない。人集めには、魅力のある人を誰か呼ぶなどの目玉企画が一番簡単な方法ではないか。

小野山委員 過去の委員に声をかけるならば、きちんと招待状を出すくらい必要だ。未来フェスタなどはひとみ座が出ており、結構な集客がある。広報の問題も何かあるのではないか。せっかい良いものがあるのもったいない。

成田部会長 前期は反町委員から「ちょっきんず」さんに直接声をかけることができた。

萩原委員 ひとみ座さんは、結構呼ぶのにお金がかかります。交渉次第の部分はあるかと思いますが、地域のイベントで予算的にあきらめたことがありました。

成田部会長 中原区に転入された子育て世代にぜひ来てほしいということで、子どもの関心を惹くプログラムを前は考えました。子どもが来ればその親も来ます。

田邊委員 中高生の学生さんなどは呼びやすいです。親も来たりします。

事務局 今回のテーマである防災を軸に考える必要があります。9月末に町内会連合会を対象に開催した被災地で活躍する防災士による講演会には200人近く集まり、内容も好評でした。総合防災訓練ではアウトドアの企画が人気だった。

事務局 福島県に住んでいる震災の体験者で防災士や地域消防団としての活動経験があり、被災者支援のNPOを立ち上げて活躍している方を以前、別の業務でお招きしたことがある。実体験や役に立つ防災グッズの紹介やローリングストック法のことなど、

わかりやすくお話しいただいたこともあり、今回打診してみたところ、最近は、復興住宅支援の事業で忙しく、講演は断わっているとのことだった。

萩原委員 学校の吹奏楽部を招くだけでなく、その学校で行っている防災の取組があれば、それも検討してみたらどうか。学校にとっても、地域との良い機会になりそうだ。

田邊委員 学校を呼ぶなら、早めに日程を決めて交渉したい。卒業・進級などの兼ね合いで、4月よりも5・6月が良さそうだ。

成田部会長 5月上中旬は運動会の日程と重なりがちだ。

事務局 市民館の場合、5・6月の使用は難しい。利用希望の1年前に抽選が行われる。

当初想定していた3月24日であれば、確保している状況だ。

井上委員 フロンターレ応援団が講演した時も人が少なかった印象がある。市民館が会場である限り、場所の特性上、集客はかなり難しそうだ。

成田部会長 外から何をやっているかわからない。まず2階に上がらなければならない。

井上委員 こども未来フェスタはひとみ座の知名度のみで人が集まっているわけではない。ターゲットを若い世代にするのであれば、会場はコアパークが良いと思う。フロンターレのサポートショップのイベントを9月に開催した際も想像以上の来場があった。人通りが多く、地理的状況が良い。

今回のテーマは皆さんの関心があるからこそ取り上げたはずであり、そこはしっかり報告したい。区民会議を知らない人を呼び込みたい。

萩原委員 報告の企画にコアパークが適しているのか。また屋外なので、天候に影響される面もある。

井上委員 親子サッカードリーム教室で実施したブースをそのまま活かした体験企画はどうか。併せて消防車の展示などがあれば、子どもは喜びそうだ。防災をテーマにできることはたくさんある。話を聞いてもらう形ばかりではなく、様々な取組を紹介、体験したり、知ってもらうことが大切ではないか。

萩原委員 報告については要点をまとめた印刷物を制作し、配布する形でも良い。先日の親子サッカードリーム教室は、多くの来場があり、とても良かった。5月の開催にすれば準備の期間も十分あります。内向きのまとめは別に考えても構いません。

井上委員 コアパークで開催すれば、立ち止まって、ちょっと見たり、体験してくれる人は間違いなく増えると思います。私が今回の討議で印象深かったのは、防災に関する関心や知識、経験の有無が二極化しているということです。そこは何か伝えたい。

萩原委員 コアパークを使うにはどのような手続き、予約になるのでしょうか。

井上委員 エリマネ、商店街、町内会の3者で構成される運営協議会にまず企画を説明し、許可をいただく必要があります。後は行政等への申請手続きになる。

親子サッカードリーム教室ではヘルスメイトさんにご協力いただいた非常食のブースも大変良かった。寒かったこともあり、ご飯は本当に美味しかったです。

橋本委員 防災の体験なら、色々な企画が考えられる。体験的なものであれば、屋外の方が向いているものも多いだろう。

成田部会長 コアパークで開催すれば、通りがかりで興味をもって覗いてくれる人もいるだろう。

萩原委員 まず日程と場所を抑えたいですね。

成田部会長 着ぐるみなどにも登場してもらえると良いです。ロジィちゃんや、ミミケロなど…

事務局 防災関係の啓発イベントという形にすれば、各部署にも声はかけられるし、消防や警察も都合がつけば参加いただけるのではないかと。災害対策車などをイベントで持ってきた例もあります。ただ、コアパークに乗り入れられる重量制限はあるかと思う。

井上委員 以前はビジョンカーという10トン程度の車を入れていた際にギリギリかなと話していた記憶がありますので確認が必要です。

事務局 中原区だけにある、通称ザリガニと言われる災害対策車などもあります。

報告会の部分は、区民会議の取り組みをまとめた冊子を用意して配るという形でも良いと思います。

井上委員 時間帯は10時～15時あたりでしょうか。講演であれば、フロンターレが協定を結び、復興支援や互いを盛り上げる関係を構築している岩手県の陸前高田市の方をお願いしてみることもできそうです。

コンサル お話を伺うとしてどんな場が良いでしょうか？屋根は必要でしょうか？

井上委員 屋外、青空教室でも良いと思います。テントを少し張っても良いです。

萩原委員 長い時間は難しいと思います。

井上委員 30分が一つの目安になるかと思います。

事務局 企画の立て方によって、啓発活動として企画できれば費用は抑えられます。

萩原委員 ステージを組んだりするとお金がかかりそうです。

井上委員 一体感があるようにしたいです。ストリートライブなどは必要ないのではと思います。

事務局 時期的には梅雨入り前、5月下旬くらいがやはり一番良さそうです。

井上委員 5月の週末ですと、私は当日の参加等難しくなる可能性があります。すみません。できる限りのことはやらせていただきますが、ワールドカップやACLでかなりの過密日程が想定されます。

橋本委員 物品の販売は可能なのでしょうか？

事務局 公園になるので、販売を行う場合は基本的に収支報告が求められ、また利益が出ないようにする必要があります。何か方法はあるかもしれませんが、確認・調整が必要です。

井上委員 例えば復興支援ということでできないでしょうか？フロンターレでは、陸前高田ランドという企画を3年前からやっていて、牡蠣などの現地のグルメを出しており、大変盛り上がっています。

開催時期ですが、気候を考えると5月頃が良さそうですね。3月はまだ寒そうです。

また、何かイベント名を考えたいですね。防災とつけると堅いイメージになってしまいそうです。区民会議成果祭とか？

コンサル 親子サッカードリーム教室ではロープ結びのブースなども結構人気がありました。短い時間でも体験が可能な企画です。

井上委員 何気に人気があっぴょくりしたのが、中森委員に御協力いただいた国際交流体験ブースです。見ていてもすごく楽しそうでした。

橋本委員 防災の非常食も提供いただけると良いですね。

事務局 前はちょうど賞味期限が近くなっているものがあり、それを配ることができました。今回も同じような形で調達できるかどうかはわかりません。

井上委員 フロンターレと関係のある企業に食材提供をまたお願いしてみることはできます。

萩原委員 「区民会議成果祭」良いと思います。サブタイトルを何かつけても良いかもしれせん。

事務局 前回の報告会では「ゴーヤの苗」など配りましたが、あまり人気なかったようです。

井上委員 アピールの仕方、例えばテーマと絡めて「自給自足できますよ」とか言うてはどうでしょう。

小野山委員 クイズラリーはどうでしょうか？

井上委員 やりましょう。問題は少し変えたいですね。どこかで見たと言われぬように。

事務局 テントは調達可能かどうか確認してみます。

井上委員 エリマネがいくつかは持っており、使用可能かと思ひます。

事務局 会場や備品等のエリマネとの調整は事務局の方で確認してみたいと思ひます。

井上委員 体験ブースについては、車椅子も良かったと思ひます。

コンサル 私は現地がイメージできていないのですが、どのくらいの広さでしょうか？多くの企画案が出ていますが、全部実施可能なのでしょうか？会場規模が私はイメージできません。

井上委員 大丈夫だと思ひます。車いすは決められたコースではなく、街中の移動を体験してもらえればより価値があるのではないのでしょうか。

コンサル 企画内容については、調整が必要ですが、既に親子サッカードリーム教室一度やっている経験は大きいと思ひます。

井上・田辺・小野山・梶川・萩原委員 やりがいはあります。親子サッカードリーム教室はたくさんの親子とふれあえて楽しかったです。スポーツをしているせいか、気持ち良い、礼儀正しい親子が多かったです。運営は交代制などで、いろいろな団体の協力を得ながら考えたいです。

成田部会長 雨天決行ですが、荒天の場合は中止でしょうか。1月の全体会で内容を絞り込み、実現させたいです。

事務局 エリマネも防災の取組を進めているので、何かやってもらったり一緒にできると良いと思ひます。

## (2) 今後の進め方について

今度の運営部会は報告会の実施に向けた準備を行っていくことになるため、全体会の後に開催することになる。

### 4 その他（事務連絡）

特になし

### 5 閉会

(以上)